



ボランティアセンターだより

2019年12月 No. 133号



市内の小中学校で「福祉学習」をすすめています♪



手話学習



車いす体験



点字学習



アイマスク
& 白杖体験



高齢者疑似体験

社協では、「人を思いやる力」や「違いを認め合う力」などを引き出すことを目的に、福祉学習を推進しています。当事者の方や地域の施設の職員さんにも講師としてご協力をいただいております。これらの学習を通して、子どもや家庭、学校、地域の様子が変わっていくことを期待しています！学習を希望される方はお気軽に社協までお問合せください。

おもいやりポイント制度説明会

日時：12月19日（木）14時～

場所：翁寿園（八木寺内373-1）

【同時開催】

施設見学&体験会

（館内清掃など）



～おもいやりポイントって？～

南あわじ市では、シニア世代がこれまで培ってきた能力や経験を生かし、市内の施設などで行うさまざまな活動に応じて“おもいやりポイント”が付与されるしくみをすすめています。

ほつと一息



子どもたちにとって（大人も!?）楽しいクリスマスですが、サンタクロースを引っ張っているトナカイは実は9頭もいて、すべてに名前がついています！ダッシャー・ダンサー・プランサー・ウィクゼン・コメット・キューピッド・ドナー・ブリッツェン・ルドルフで、赤鼻のトナカイで有名なのは、ルドルフという名前のトナカイだそうですよ♪

「社協のおまつり」にご協力 いただきありがとうございました



社協では、地域の誰もが参加でき、気軽に集えて交流できる場として旧町ごとに「社協のおまつり」を実施しています。

当日はどの日も晴天に恵まれ、たくさんの方にご来場をいただきました。また、運営には各種団体の方々をはじめ、多くのボランティアさんにご協力をいただき、ありがとうございました。2月には三原地域での開催を予定しています。



発行 南あわじ市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒656-0122 南あわじ市広田広田1064
TEL：44-3007 FAX：44-3037
MAIL：info@minamiawaji-shakyo.or.jp





「だいすき灘のまち」をすけっと号で!

～NPO 法人灘水仙の里「すけっとクラブ」を訪ねて～

たわわに実ったみかん畑の上方、灘の豊かな自然と海が見下ろせる高台にその事務所があります。灘の公民館から山手に歩いて上るには息を切らす坂道です。みかん畑の隣の坂道で、ニコニコと笑顔でお二人のメンバーが待っていてくださいました。NPO 法人「灘水仙の里」代表の丸野登志子さんとメンバーの林幹韶さんです。

灘水仙の里が実施している「すけっとクラブ事業」は灘地区限定の有償運送事業です。集落のほとんどは海岸沿いの主要道路から坂道を上る山腹に位置し、主要道路を走る 1 日 5 便のバスを利用するにも、この急な坂道を上り下りしなければいけません。灘地区は高齢化率 46%にものぼり、高齢で足元が弱くなると、シルバーカーを押しての坂道はどうてい無理です。「この大変な現状をどうにかしないと!」と地元の丸野さんが平成 25 年に NPO 法人「灘水仙の里」を立ち上げました。その後、古民家を改修し、事務所を作り、バス停までの道のりの送迎をボランティアで始めました。そして令和元年 6 月、福祉有償運送として登録され、灘の交通弱者の手助けをしています。代表の丸野さんをはじめ、林さん、近藤さん、秦さん、吉田さんの 5 名で運転業務をされています。

淡路島内にも有償運送は存在しますが、何人かの乗りあわせではなく、マンツーマン対応の移送事業は「すけっとクラブ」が初となります。また、当日朝 8 時までの申し込みで動いてくれるので、利用者側にはとても利用しやすい対応です。現在、24 名が登録されており、1 ヶ月の延べ利用人数は 43～45 回とのことなので、1 人の利用が複数回になるということです。灘地区内のみの送迎で、受診、美容院、買い物、バスの乗り口までと利用目的は生活に密着しており、まさに灘地区住民の足となっています。地元の方からは、「助かっている」という声が多く寄せられています。

また、代表の丸野さんは、ケアマネジャーとして居宅介護事業もされ、地域の皆さんの介護保険に対しての「?」にも対応されており、住民の心にも寄り添っていらっしゃいます。

今日も灘の坂道をすけっと号が、地域の住民の足となり走っています。



詳しくは
検索を!

NPO 法人灘水仙の里



「だいすき灘のまち」灘の歴史



「すけっとクラブ」のメンバーの林幹韶さんは、定年後に地元に戻ってこれ、お母様を介護するかたわら灘地区の歴史に興味を持ち、自身が育った灘のいにしえについて、図書館、文献、インターネット、そして自身の足をもとに調べ、学習されました。人口減少のため、廃れていく伝統やまつり、地域の催しを後世に伝えられるよう DVD に残していつているそうです。

淡路島はおのころ島と言われるだけあり、神話や神社の話は大変興味深いものがあります。みなさんはご存知でしたか? 西暦 1500 年以前、灘地区と沼島の間の半島にあった「白石村」が地震で沈んでしまったそうです。地元の高齢者の方もなかなか存知得ないことだと思います。神社・地形・神話のお話を、聞く人を引き込む要素たっぷりにお話してくださいました。「だいすき灘のまち」を検索してみてください。灘のステキな話題がたくさんです!

詳しくは
検索を!



だいすき灘のまち

